

## プリンセス・クルーズ、3月12日より60日間一時的に運航を中止

お客様と乗務員、寄港する世界中のコミュニティの健康と安全のために

[プリンセス・クルーズ](#)は、新型コロナウイルス（COVID-19）の世界的な拡大による予測不可能な状況を慎重に検討した結果、保有する18隻の客船の運航を3月12日から5月10日までの60日間、自主的に一時中止とすることを決定しました。

プリンセス・クルーズの社長、ジャン・スワーツは以下のように述べています。

「プリンセス・クルーズは、多様なビジネスの一環として、70カ国から毎日5万人以上のお客様にサービスを提供している世界的なクルーズラインです。また現在2つのエリアにおいて、新型コロナウイルス（COVID-19）の影響に対応していることは周知の事実です。客船の運航を一定期間見合わせるという決断は、お客様と従業員、世界の関係機関だけでなく、ビジネスパートナー、世界中の訪問する国や地域において、私たちと共に航海するすべての人々の健康と安全、幸せを最優先事項と考えた結果です」。

現在ご乗船中で、今後5日以内に下船予定のお客様は、クルーズ終了後の移動に支障がないよう、予定通りご乗船いただけます。また、既にご出発済みで3月17日以降も運航予定が続くクルーズは、運航条件を考慮し、お客様にとって最適と思われる寄港地で終了とさせていただきます。プリンセス・クルーズは、可能な限り最大限の注意を払い、お客様全員が安全にご自宅にお戻りいただけるよう、対応に努めてまいります。フリート・オペレーションチームと医療チームは、この期間も乗船中のお客様と乗務員へのケアとサービスを継続してまいります。

この運航中止に伴う手続きの詳細については、お申込みの旅行会社へお問い合わせください。

YouTube に投稿した[メッセージ動画](#)で、ジャンは次のように述べています。

「この決断は、私たちのビジネスにおいて非常に厳しいものでした。しかし、正しい決断であり、そして弊社のコアバリューに沿ったものと固く信じています。長年に渡りプリンセス・クルーズに献身的に貢献している熟練のスタッフたちは、この休止期間を最大限に活用し、これからのクルーズがより安全で素晴らしいサービスを提供できるよう最善を尽くします」。

社長ジャン・スワーツ メッセージ動画（英語）

<https://youtu.be/ZC1jVky9hqE>

プリンセス・クルーズは、2020年5月11日出発のクルーズから再開する予定です。これに伴い、日本発着クルーズは2020年5月16日から運航を再開予定です。